

もりばたけ 秀治

vol.13



朝鮮半島有事の備えについて

朝鮮半島での緊張が高まっています。

政府は北朝鮮による、たび重なる弾道ミサイル発射を受け、8月18日、中・四国の9県と全202市町村を対象に、全国瞬時警報システム（Ｊアラート）の情報伝達訓練を実施しましたが、機器が正常に作動しないというトラブルが相次ぎました。

ナーバスになっている住民の不安を、より一層かきたてることになったのは非常に残念です。

こうした不備・

不安の多い中、北朝鮮は、9月3日には国際社会の声に耳を傾けず、6回目の核実験を行うなど、現実味を帯びてきた朝鮮半島有事の備えについて質問しました。

【抜粋】

質問

北朝鮮に対する本市としての認識と対応についてお答えいただきたい。

答弁

核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を願う本市にとって、北朝鮮の一連の行為は、被爆者の辛く悲しい経験に基づく平和への切なる願いを踏みにじる、断じて容認できないものであり、核実験三日、嚴重に抗議するとともに、全ての核兵器と核計画を即刻放棄し、国際社会との対話と強調による外交努力を行うよう、改めて強く要請する旨の抗議文を発出した。

日本政府を含め、関係各国政府には、今のような状況そのものを解決するために、緊密な連携の下、冷静な対応により外交努力を重ね、平和的に解決していただきたいと考えている。（裏面へ続く）



■発行／森島秀治事務所

■連絡先／広島市東区温品7-18-4 秀和ビル 209 TEL&FAX.289-2356

■URL <http://moribatake.jp>

■Facebook URL <http://www.facebook.com/moribatake.shuji>



質問

北朝鮮による弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を実施する計画はあるか。

答弁

弾道ミサイルが発射され、本市に飛来する可能性がある場合には、本市は、国からの「アラートの情報を受け、本市の防災行政無線を確実に接続・作動させ、市民に迅速に警報を伝達する。

また、市民はこの警報に基づき、建物への避難や物陰に身を隠すなど、直ちに安全を確保する行動をとることが必要である。

弾道ミサイルを想定した住民避難訓練は、国・県・市が連携し、それぞれの役割の中で実施する必要があるが、現時点では市単独での訓練実施の計画はないが、県を通じて、国・県との共催で実施できないか打診する。

質問

朝鮮半島有事の際に、わが国に多数の避難民が押し寄せてきた場合、本市にも少なからず影響があるものと考えられるが、受け入れについてはどのように考えているのか

答弁

避難民の受け入れについては、出入国管理および難民認定法等に基づき、国において対応するものと承知しているが、仮に国からの要請等があれば、適切に対応していくことになる。と考える。

※このたびの質問により「広島市弾道ミサイル安全確保訓練」と称し、避難訓練を実施することになりました。

① 実施日時

平成29年12月4日(月)13時00分～13時15分

② 概要

事前に協力を依頼した公共施設、学校、事業所において、情報伝達と安全確保行動をとる訓練を行う。

③ 訓練実施場所および参加者

市役所本庁舎、広島市立看護専門学校、竹屋公民館、中国電力株式会社広島営業所

森林公園」について

平成27年11月、「広島市森林公園」と「広島県緑化センター」は、統一名称を「ひろしま遊学の家」とし、一体的な管理・運営が行われることとなりました。

森林公園の園内は、野鳥のさえずりが響く中、春は数々の花が咲き乱れ、夏はジャブジャブ川での水遊び、秋には紅葉狩り、冬は白銀の世界を堪能できるなど、一年を通じて素晴らしい自然を満喫することができます。

一方、緑化センターは、面積は125haと広大で、学習展示館、レストハウス、樹木見本園、や「わんこひろば」などの施設があり、多くの人の憩いの場となっています。

〔抜粋〕

質問

森林公園進入路の入口から施設の入場ゲートまでは、車道のみで歩道がなく危険。何か対策できないか。

答弁

カーブも多く見通しが悪いことから、今後、歩行者の安全性を確保する対策について検討していく。



質問

「緑化センター」に合わせた「森林公園」の駐車場の無料化について、どのように考えているのか。

答弁

「森林公園」と「緑化センター」は、一体的な運営を行うべく同一の指定管理者を選定するところまでできているが、それぞれの施設の所有・管理が一元化できていない現状においては、広島市森林公園条例に基づき、安佐動物公園や植物公園と同様に料金設定されていることから、現在は無料化できない状況にあるが、今後は検討を行う。

質問

クロスカントリー場について、今年3月に開催された予算特別委員会での、私の質問に対し、「両施設にまたがるコース設定は可能である。」との答弁だったが、その後、検討はしているのか。

答弁

検討を行ったところ、5m程度の幅員が必要とされていることから、コース設定は両施設をつなぐ公道を使用することとなり、交通事故等、利用者の安全確保を講じる必要があること。

小規模な大会等の開催にあたっては、警察の許可を得て交通規制を行うことが必要となること。等の課題が判明した。

一方で、両施設の森林内には両施設をめぐる約20kmの遊歩道が整備されており、これらを利用したトレッキングやトレイルラン等さまざまな活用が考えられる。

今後は、クロスカントリーも含め、スポーツ競技等のコース設定について検討する。



府中大川(温品川)へ「量水標」を設置

東区馬木を水源とし、上温品・温品を流れる府中大川(温品川)は、天井川で堤防も低く、豪雨のたびに避難警報や避難勧告が発令される非常に危険な河川とされています。安全確保等、行政に頼るだけでなく、地域住民の皆さんも「我が身は自ら守る」という考えのもと、防災対策として、増水した河川の水位を自分の目で確認するため、「量水標」を設置しました。



設置場所は、最も越水しやすいとされる上温品の「丸子橋のたもと」です。

これにより、防災意識の高揚や速やかな安全確保を図ることができるようになります。

森 畠 秀 治

広島市議会議員 東 区

主なプロフィール

- ・政令指定都市議員連絡協議会 政調会長
- ・建設委員会 委員長
- ・大都市税財政・地方創生対策特別委員会 副委員長
- ・経済観光・環境委員会 委員長
- ・広報委員会 委員長

- ・自由民主党・保守クラブ 副幹事長
- ・広島菊友会 参与
- ・広島南年金受給者協会福木地区協議会 顧問
- ・学区体育協会 顧問
- ・社会福祉法人 理事 など

